



キリバス共和国

Republic of Kiribati

2007年12月現在



一般事情

- 1.面積 730平方キロメートル(対馬とほぼ同じ。世銀)
- 2.人口 92,428人(2005年、政府人口調査)
- 3.首都 タラワ(4.6万人)
- 4.民族 ミクロネシア系(98%)の他、若干のポリネシア系及び欧州人が居
- 5.言語 キリバス語及び英語が公用語
- 6.宗教 ローマ・カトリックとプロテスタントが主な宗派
- 8.通貨 豪州ドル
為替レート 1豪州ドル = 105.74円 = 0.9216米ドル(2007年10月末)
補助通貨単位 100セント = CENT/S
- 9.査証(ビザ) コンセント・タイプ
- 10.在留邦人数 25名(2006年9月現在)
- 11.在日当該国人数 6名(2005年10月現在)(「出入国管理統計年報」法務省)
- 12.電源 - V - Hz
- 13.国際電話 国番号 686 国際通話コード 9
- 14.シガレット 小売価格 - US\$ (20本当り)
税率 - %
製造数量 - (百万本/年)
シガレットメーカー

7.略史

年月	略史
1606年	スペイン人キロス、ブタリタリ島(ギルバート諸島)を発見
1892年	英国、ギルバート諸島、次いでエリス諸島を保護領と宣言
1916年	英国、ギルバート、エリス諸島を併合、植民地とする
1939年	英及び米国、カントン島及びエンダベリ島(フェニックス諸島)を共同統治
1941年	日本軍、バナバ、タラワ、マキンを占領
1979年7月12日	独立

- 16.在外大使館・領事館 なし
- 17.駐日大使館・領事館 なし

政治体制・内政

- 1.政体 共和制
- 2.元首 アノテ・トン大統領(Anote Tong)
- 3.議会 一院制、46議席(内2名は司法長官及びランビ島評議会代表者)、任期4年
- 4.政府 (1)首相 なし
(2)外相 アノテ・トン(大統領職と兼任、2003年8月就任)

5.内政

独立以来大統領を務めてきたタバイの任期終了により、1990年7月にテアンナキが大統領に就任。1994年の総選挙で与党が大敗し、テプロロ・シトが大統領に選出され、1998年11月の大統領選挙で再選さ。2002年11月に実施された総選挙では与党が苦戦し、続く2003年2月の大統領選挙ではシト大統領がかる。2003年5月の議会選挙に続き、7月に行われた大統領選においてアノテ・トンが選出された。同年11月、トン政権は台湾と外交関係を樹立し、これが一時的に政治問題となったものの、漁業とコブラ生

外交・国防

- 1.外交基本方針 豪、NZを含む太平洋諸国との友好関係維持・強化、経済自立達成、財政収入確保のため多様な国際関係
トン大統領は2003年11月、台湾と外交関係を樹立、これに対抗し中国はキリバスと断交した。
- 2.軍事力 軍隊はない

経済

- 1.主要産業 漁業、コブラの生産
- 2.GNI 137.4百万米ドル(2005年、世銀)
- 3.一人当たりGNI 1,390米ドル(2005年、世銀)
- 4.経済成長率 1.8%(2004年、世銀)
- 5.物価上昇率 -1.9%(2004年、ADB)
- 6.総貿易額 (2002年、ADB)

7.貿易品目

- (1)輸出 6.32百万豪ドル
- (2)輸入 91.59百万豪ドル
- (1)輸出 コブラ、観賞用魚、海藻
- (2)輸入 食品、輸送機器・機械、工業製品

8.貿易相手国(2003年)

- (1)輸出 日本、韓国、豪州
- (2)輸入 豪州、フィジー、ニュージーランド

10.通貨

11.為替レート

豪州ドル
1豪ドル = 94.43円(2007年2月)

12.経済概況

1979年に燐鉱石が枯渇して以来、漁業開発の促進等により新しい経済構造を模索中。
LDC(後発開発途上国)。

経済協力

1.我が国の援助実績

	2005年度	2005年度までの累計
(1)有償資金協力	なし	なし
(2)無償資金協力	6.39億円	150.82億円
(3)技術協力	0.29億円 (JICA実績のみ)	35.86億円

2.主要援助国

- (1)豪(5.4)、(2)NZ(2.1)、(3)米国(1.3)、(4)日本(1.2)
- (百万米ドル、2004年DACベース)

二国間関係

1.政治関係

- (1)1979年7月12日のキリバス独立式典に大野明衆議院議員を派遣。同日国家承認。
- (2)1982年11月、パイテケ初代駐日大使(移動大使)が我が国に信任状を捧呈。
- (3)1983年4月、在京キリバス名誉総領事館開設。

2.経済関係

- (1)対日貿易(2005年、財務省通関統計)
 - (イ)貿易額
 - 輸出 125万米ドル
 - 輸入 1,014万米ドル
 - (ロ)主要品目(%)
 - 輸出 魚介類(まぐろ、かつお)
 - 輸入 機械類、自動車
- (2)我が国からの直接投資 1件 35千円(1993年度)
- (3)政府間漁業協定(1978年発効)

3.在留邦人数

25名(2006年9月現在)

4.在日キリバス人数

6名(2005年10月現在)(「出入国管理統計年報」法務省)

6.要人往来

(1)往(1979年以降)

年月	要人名
1979年	大野明衆議院議員(独立式典特派大使)
2000年	浅野勝人外務政務次官(PIF域外国対話)

(2)来(1979年以降)

年月	要人名
1979年	タバイ大統領
1981年	テイワキ天然資源大臣
1982年	キラタ天然資源大臣
1985年	タバイ大統領、アロパティ貿易・産業・労働大臣 キラタ天然資源大臣
1987年	タオマティ天然資源開発大臣
1988年	タバイ大統領、アタイア保健・家族計画大臣
1989年	テアンナキ副大統領(大喪の礼)
1990年	ポカイ人事院総裁(花博賓客)
1990年	タバイ大統領(即位の礼)
1997年	シト大統領(日・SPF首脳会議)
1998年	シンガ蔵相(ADB・CG会合)
2000年	シト大統領(第2回太平洋・島サミット)
2001年	シト大統領(外務省賓客)
2003年3月	タオム労働・エネルギー大臣(水フォーラム)
2003年5月	オタン国政評議会議長(第3回太平洋・島サミット)
2004年8月	ナカラ漁業・海洋資源開発大臣(故鈴木元総理葬儀)
2004年8月	同上(日・キリバス漁業協議)
2005年8月	テーベ通信・運輸・観光開発大臣(博覧会賓客)
2006年5月	トン大統領(第4回太平洋・島サミット)
2007年2月	トン大統領(実務訪問賓客)
2007年8月	トカタアケ人事院議長(故宮澤元総理葬儀へ特使として参列)
2007年12月	トン大統領(第1回アジア・太平洋水サミット(於:大分))

6.二国間条約・取極

日・ギルバート諸島漁業協定(1978年)、
青年海外協力隊派遣取極め(2007年)

7.外交使節

- (1)駐キリバス日本国大使
滑川雅士駐フィジー大使が兼任。
- (2)日本へのキリバス臨時代理大使
エリオット・アリ(キリバス外務次官、本国常駐)